
ライスシャワーは花びらで

冴島鋼牙（春雨・T・サラダ）

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ライスシャワーは花びらで

【Nコード】

N5510I

【作者名】

冴島鋼牙（春雨・T・サラダ）

【あらすじ】

受験まったただなかの祐一、彼ががんばる目標と約束とは

俺は高森 祐一高校3年生。好きなものカレー、今受験戦争まつただ中。俺には気になる人が居る、それは……

？「こら！なによそ見しているの？ちゃんと授業聞きなさい。」

祐一「あつ未来先生、すみません。」

未来「未来先生じゃないでしょ、私は市ノ瀬ですちゃんと名字で呼びなさい。」

市ノ瀬 未来 うちの学校の先生で、俺の幼なじみ、そして俺の気になっている人。

まあ、10年前に言ったことを、覚えている俺がおかしいんだが。

10年前 未来「ねー祐君知ってる？リンゴの花って白いんだよ。」

祐一「そうなんだ。」

未来「私ね。結婚したら、リンゴの花びらをライスシャワーにしたいな。」

祐一「じゃあ、僕が未来お姉ちゃんの、結婚相手になる。」

そんな、子供の約束みたいな事だった、そのために俺は必死に勉強している。

先生にふさわしい男になるために。

祐一「あー疲れるな。」

友也「オイ祐一、お前歌織を振ったんだって？」

祐一「なんだよ友也、仕方ないだろ。俺には好きな人が居るんだから。」

友也「市ノ瀬先生だろ？お前知らないのか？」

祐一「なにが？」

友也「市ノ瀬先生なら田中先生と仲が良いって。」

祐一「噂だろ、信用しねーよじゃあな。」

友也の言うことは信用してなかった、いや信じたくなかった。

祐一「あれ、未来先生。一緒に帰ろうかな。せんせ……」

そこには未来先生と田中先生が仲良く話していた。

祐一「ちくしょー!!」

俺は走り続けていた、当てもなく走っていた。

次の日俺は未来先生の授業をさぼった。ただ会いたくなかった。

未来「祐一君！なんで授業でないの？」

祐一「関係ないやろ。」

未来「なんで祐一君頑張ってたじゃない、なんで？」

祐一「ばかばかしくなったんだよ！」

未来「なにが、どうしたっていうの？」

祐一「どうせ俺なんて、努力しても無駄なんだよ！」

未来「なんで・・・」

祐一「田中と付き合ってるんでしょ、俺には努力しても無駄なんだよ！」

未来「なにがどうしたって言うの？」

祐一「先生は覚えてないだろうけど、俺はずっと覚えていただから、俺は努力してたんだよ。」

先生が好きだから、ずっと好きだったから。」

未来「ありがとう、私も祐一君好きよ。」

俺は先生をそっと抱きしめて、口づけした。

そして俺は目標の大学に合格、そして約束通り、俺と先生は結婚した、
リンゴの花びらをライスシャワーにして。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5510i/>

ライスシャワーは花びらで

2010年10月26日05時47分発行